

新年のご挨拶

人阪府信用金庫健康保険組合

理事長 高橋 知史



明けましておめでとうございます。

加入員およびご家族のみなさまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、日ごろは当健康保険組合の事業運営につきまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国民の生活や経済活動が大きく制約され、社会や経済に甚大な影響を与えました。

現在も、感染拡大は一進一退の状況にあり、依然として感染防止を意識した生活を余儀なくされています。

当健康保険組合におきましても、感染防止のため健康診断業務を一時停止するなど、加入員のみなさまに多大なご迷惑をおかけいたしました。

改めてお詫びを申し上げますとともに、今後についても、感染防止に対する万全の態勢で健診業務を行ってまいりますので、加入員のみなさまのご協力とご理解をお願い申し上げます。

一方、新型コロナウイルスは、業務のオンライン化、デジタル化によるテレワークや非対面

取引の拡大など、働き方や社会生活のあり方を急速に変えています。

政府は本年秋までに「デジタル庁」を創設し、ICT活用による国民生活の向上を積極的に推進する方針であり、健康保険業務におきましても昨年11月からオンラインでの事務手続き「電子申請」が開始されました。また、本年3月からはマイナンバーカードが保険証として利用できる仕組みの導入が予定されています。

当健康保険組合では、このような社会の変化に適切に対応しつつ、みなさまの健康管理、健康づくりを支える事業を推進してまいります。

加入員のみなさまには、定期的な健康診断と健診結果を活用した健康づくりへの取り組み、さらにはジェネリック医薬品の利用など、疾病予防と医療費の適正化にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と、本年がみなさまにとって実りのある一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。